

# 高圧ガス製造設備保安検査点検表(液石則第6条関係・第1種製造設備)

## 1. 事業所概要

事業所名称							
事業所所在地		〒					
許可年月日・番号		年 月 日				第 号	
処理能力		Nm <sup>3</sup> / 日					
製造設備	貯槽	容量 焼とん	No.1 有 t 無	No.2 有 t 無	No.3 有 t 無	No.4 有 t 無	
		開放検査	年 月	年 月	年 月	年 月	
処理設備	名称						
	処理能力	Nm <sup>3</sup> / 日					
	開放検査	年 月	年 月	年 月	年 月		
保安検査	年 月 日 氏名			印	氏名		印
協会指導	年 月 日 氏名			印	氏名		印
立会者	保安検査	氏名	印	協会指導	氏名	印	

## 2. 記録簿

危害予防規程	S・H・R 年 月 日 認可・届出 有・無						
保安教育計画	保安教育計画書	S・H・R 年 月 日 有・無					
	今年度の策定状況	有	・	無 適・否			
定期自主検査	自 年 月 日	実施者					
	至 年 月 日						
申請書類等の整備	適	・	否	月例点検	適	・	否
基準類の整備状況	適	・	否	日常点検	適	・	否
設備台帳補修記録	適	・	否	受払記録	適	・	否
保安教育実施記録	有	・	無	充填記録	適	・	否
周知書面交付記録	有	・	無	容器底部検査記録	適	・	否
防災訓練実施記録	有	・	無	実施日	年	月	日

## 3. 保安管理組織

保安統括者	職名: 氏名:	同代理者	職名: 氏名:
保安技術管理者	氏名: 免状: 講習: H・R 年	同代理者	氏名: 免状: 講習: H・R 年
保安係員	氏名: 免状: 講習: H・R 年	同代理者	氏名: 免状: 講習: H・R 年
保安係員	氏名: 免状: 講習: H・R 年	同代理者	氏名: 免状: 講習: H・R 年

\* 「結果」欄以外は検査前に必ず記入しておくこと。

#### 4 - 1. 定置式製造設備に係る技術基準(液石則第6条関係)

##### (1) 製造設備等

検査項目	方法	内 容	結果	備 考
1. 境界線 警戒標	目 視	製造事業所 境界線の明示： 有 ・ 無 警戒標の設置： 有 ・ 無 ローリー停車位置 停車位置の明示： 有 ・ 無 警戒標の設置： 有 ・ 無	適 不 適	第1項第1号 例示基準1
2. 設備距離	計 測 目 視	第1種設備距離： 法定 m、実測 m 第2種設備距離： 法定 m、実測 m	適 不 適	第1項第2号
3. 障 壁 4. 距 離 の 緩 和	目 視 試 験 記 錄	障 壁： 高 さ m × 厚 さ cm	適	第1項第3号
		水噴霧装置： 每分 7 L/m <sup>2</sup> L/m <sup>2</sup>	不 適	第1項第4号 例示基準2, 3
5. 埋設貯槽	目 視	貯槽室： 有 ・ 無	適	第1項第5号
6. 腐食防止 措 置	計 測 記 錄	方法： 乾燥砂 ・ 水没 ・ 強制換気 ガス漏れ警報設備： 点(2個/1基以上)	適 不 適	第1項第6号 例示基準 4, 5, 6, 7
7. 火気取扱 施設との距離	計 測 目 視	法 定 距 離： 8 m 実測 m 流動防止装置： 有 ・ 無 流動防止装置の種類： ( )	適 不 適	第1項第7号 例示基準8
8. 貯 槽 間 距 離	計 測 目 視 試 験	1m又は最大直径の和の1/4以上のいずれか大 法 定： m 実測 m 水噴霧装置： 每分 7 L/m <sup>2</sup> L/m <sup>2</sup> 操作位置： 法定 15m 実測 m	適 不 適	第1項第8号 例示基準3
9. 貯 槽 の 表 示	目 視	「L P ガス」の朱書き： 有 ・ 無 埋設貯槽の標識の掲示： 有 ・ 無	適 不 適	第1項第9号 例示基準9
12. 滞留防止 措 置	目 視 記 錄	製造設備・消費設備を設置する室、容器置場の2 方向以上の開口部又は換気装置 有 ・ 無	適 不 適	第1項第12号 例示基準11
13. 気密構造	試 験	製造設備は常用以上の圧力で漏えいしない。	適	第1項第13号
18. 気密試験	目 視	試験圧力： MPa 使用ガス名：	不 適	第1項第18号 例示基準15
14. 材料規制	記 錄	安全な化学的成分及び機械的性質を有するもので あること	適 不 適	第1項第14号 例示基準12
15. 基 礎 の 緊 結	目 視 記 錄	貯槽(1 t 以上)の支柱は同一の基礎に緊結するこ と。	適 不 適	第1項第15号 例示基準13
16. 沈下状況 測定	計 測 記 錄	毎年1回以上測定し、その記録を保管する。 計測年月日： 年 月 日	適 不 適	第1項第16号 細目告示10条 例示基準14
17. 耐圧試験	記 錄	製造設備は常用圧力の1.5倍以上の圧力で漏えいしない。 試験圧力： MPa 高圧ガス設備の開放検査の結果： 適 ・ 否	適 不 適	第1項第17号 例示基準15

検査項目	方法	内容	結果	備考
19. 肉厚計測	計測記録	記録の保存 : 有・無 計測年月日 : 年 月 日	適 不適	第1項第19号 例示基準16
20. 耐震構造	目視記録	地震の影響に対し安全な構造とすること。	適 不適	第1項第20号 耐震告示
21. 圧力計	目視記録	比較テストを行い、記録を保管すること。 最高最低圧力の表示 : 有・無 有効年月日の表示 : 有・無 試験年月日 : 年 月 日	適 不適	第1項第21号 細目告示第7条 例示基準17
22. 安全装置	試験記録	安全弁等の作動テストを行い、記録を保管すること。 吹始圧 : 設定圧力の90%以上100%以下 吹止圧 : 設定圧力の80%以上	適 不適	第1項第21号 告示第7条の2 例示基準17
23. 放出管	目視	貯槽に設置 : 地盤面5m又は貯槽頂部2m以上 その他の高圧ガス設備 : 建築物、工作物以上 開口部レインキャップ : 有・無 開口部付近の着火源 : 有・無	適 不適	第1項第22号 例示基準18
25. 貯槽液面計	目視	液面計の型式 : ( ) 90%の表示 : 有・無 自動及び手動止め弁 : 有・無	適 不適	24号 例示基準20
26. 貯槽配管のバルブ	目視	緊急遮断弁以外の貯槽配管に設けたバルブ 貯槽直近弁 : 有・無 他に1以上のバルブ : 有・無	適 不適	25条 例示基準21
27. 緊急遮断装置 (5,000t以上)	目視 試験	操作機能 : 空気式・油圧式 操作位置 : 事務所・従業員控室等及び ( ) 2力所以上 貯槽より : 5m m 作動時間 : 10秒 秒 月例点検 : 有・無 受入配管 : 逆止弁・緊急遮断弁	適 不適	第1項第26号 例示基準22
28. 電気設備	目視記録	防爆性能が適切であるか	適 不適	第1項第27号
29. 冷却設備及び防火設備	目視 試験記録	水源の保有量 : 必要量 m <sup>3</sup> 実測 m <sup>3</sup> 散水量 : 適・不適 操作位置 : 事務所・従業員控室等及び ( ) 2力所以上 貯槽より : 15m 実測 m 月例点検 : 有・無	適 不適	第1項第28号 第1項第31号 例示基準23,26
30. ガス漏洩検知警報装置	試験記録	個数 : 点 月例点検記録 : 有・無 作動状況 : テストガス 濃度 % 応答時間 : 30秒 秒 ~ 秒 外部発報 : 有・無	適 不適	第1項第29号 例示基準24
31. 静電気の除去措置	目視 試験	接地抵抗値 : 貯槽 ローリー 総合 100 ポンディング : 有・無 損傷の有無、接続の状況 : 適・否	適 不適	第1項第30号 例示基準25

検査項目	方法	内 容	結果	備 考
32. 防 消 火 設 備	目 視 記 録	消火器の設置個数 : 個 定期点検 : 有 · 無 消火栓設置 : 有( 個) · 無	適 不 適	第1項第31号 例示基準26
33. 保 安 電 力	目 視 試 験 記 録	保安電力の種類 : ( ) 定期検査記録 : 有 · 無	適 不 適	第1項第32号 例示基準27
34. 通 報 設 備	目 視 試 験	通 報 設 備 の 種 類 : ( ) 通 報 設 備 の 作 動 状 況 : 適 · 否	適 不 適	第1項第33号 例示基準28
35. バルブ等 誤 操 作 防止措置	目 視	バルブの開閉方向の明示 : 適 · 否 流体の種類名、方向の明示 : 適 · 否 安全弁元バルブの封印等 : 適 · 否 適切な足場、照度の確保 : 適 · 否	適 不 適	第1項第34号 例示基準29
・貯槽への充てん ・車止め	目 視	貯槽への充填は90%以内とすること。	適・不適	第2項第1号の口
	目 視	車止めの有無 : 有 · 無 (車両に固定した容器の内容積4,000ℓ以上)	適・不適	第2項第1号のハ

(2) 容器置場 (面積: m<sup>2</sup>)

検査項目	方法	内 容	結果	備 考
35. 警 戒 標	目 視	範 囲 の 明 示 : 有 : 無 警 戒 標 の 設 置 : 有 : 無	適 不 適	第1項第35号のイ 例示基準1
36. 置場距離	計 測 目 視	第1種置場距離 : 法定 m 、 実測 m 第2種置場距離 : 法定 m 、 実測 m	適 不 適	第1項第35号のハ
37. 障 壁	目 視	有 · 無 (高さ cm × 厚さ cm)	適 不 適	第1項第35号の二 例示基準2
38. 屋 根	目 視	充てん容器置き場の屋根は、不燃性又は難燃性で 軽量であること。	適 不 適	第1項第35号のホ 例示基準30
39. 滞留防止 措 置	目 視	2方向以上の開口部があること。	適 不 適	第1項第35号のヘ 例示基準11
40. 消火設備	目 視 記 録	設置個数 : 個 、 定期点検 適 · 否 (最小B-10消火器2個以上、10tにつき1個以上)	適 不 適	第1項第35号のチ 例示基準26
参 考		充填容器と残ガス容器の区分 : 有 · 無 整理整頓(不要なものの有無) : 有 · 無 2m以内の引火性、発火性、火気等 : 有 · 無 温度計の有無 : 有 · 無 転倒、転落防止措置 : 有 · 無 作業心得 : 有 · 無 充填機 : 連×台、連×台 転倒台 : 連×台		第2項第7号 のイ 口 ハ ニ ホ 例示基準40,41

#### 4-2. 液化石油ガススタンドに係る技術基準(液石則第8条第1項関係、その他)

検査項目	方法	内容	結果	備考
2.設備距離 (ディスペンサー)	測定 目視	第1種設備距離：法定 m、実測 m 第2種設備距離：法定 m、実測 m 公道：法定 5m 実測 m (平成9年度以降設置したものに限る。)	適 不適	第8条第1項第2号 (第6条第1項第2号)
3.障壁	目視	定置式製造設備の3(第6条第1項第3号)に同じ	適・不適	
4.散水設備	目視・試験	定置式製造設備の29(第6条第1項第28号)に同じ	適・不適	
5.防護さく	目視	車と貯槽との距離：法定 3m 実測 m 防護さく：有・無	適 不適	第8条第1項第4号
参考		ディスペンサー 製作所： W 台、S 台 セーフティカップリング：有・無		

## 5. 気密試験結果

漏洩：有・無	処置：済・否 (処置者：)
漏洩箇所：	

## 6. 指示·指導事項